

文化財ニュース いわき



第 50 号

平成 8 年 3 月 28 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市中央台県立いわき公園内

TEL 0246(29)0391

50号刊行に当って

常務理事 吉田 継 男

当事業団が発足したのは昭和53年でした。発足以前から埋蔵文化財の専門調査機関の設置が望まれていましたが、好間工業団地の土地造成をきっかけに調査職員3名でスタートしました。早いもので、再来年には創立20周年を迎えようとしています。

小誌が「発掘ニュース」として刊行されたのは昭和57年「龍門寺遺跡」の調査速報的性格としてでした。手書きの原稿をそのまま印刷したもので、第11号からは写植による印刷となり、第44号からは誌名も現在のように替わりました。

この間、事務所の数回にわたる移転があり、調査職員数も20名を越す現状となりました。また、文化財は国民共通の財産であるという視点から、平成2年には「文化財普及友の会」ができ、会員数も今年度230名を越すまでに成長しました。

以上のような経過の中で、小誌は、友の会会員、発掘現場や整理の補助員をはじめ、現地説明会の参加者、発掘個所の地区民等多くの人々に配布されて文化財普及啓蒙の一翼をになって参りました。今後とも地域に根ざした着実なペースで、読者の方々のご期待に応えながら、役に立つ情報源となるように努力して参りたいと思います。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

発掘した主要遺跡

事業団発足以来発掘調査した遺跡の中には遺構等からみて、いわき市・福島県、さらには日本の歴史にとってきわめて重要な遺跡が少なくありません。その人の専門性や興味関心によって多少異なるとは思いますが、主要遺跡を順不同で列記してみましよう。

- * 竹之内遺跡は縄文早期土器群が重要。
- * 薄磯貝塚と相子島貝塚は縄文時代の終わり頃を中心とした貝塚で多量の情報を獲得。
- * 愛谷遺跡では、前期古墳・縄文時代の多量の重要遺物を検出。

* 番匠地遺跡と清水遺跡は、弥生水田や「磐城郡印」・鏡の鑄型検出等重要。

* 上ノ原B遺跡・経塚の発見により、銅製経筒と中に紙本経が残存することを確認。

* 根岸遺跡と夏井廃寺跡の発掘により、律令期における磐城郡衙の建物群を確認。

* 荒田目条里遺跡を中心に、砂畑・小茶円遺跡をふくむ遺跡群により、古代地方行政の実態や祭祀の一端を明確化。

* 荒川館・中山館・久世原館・愛谷館・匠番柵・殿田館・登館跡等中世城館の調査。



相子島貝塚の貝層堆積



清水遺跡の製鉄遺構



荒田目条里遺跡の古代河川



中山館跡の発掘状況

特集2・県文化センター調査遺跡

常磐道延伸いわき地区

遺『タクラ山遺跡の調査』 2カ年にわたる調査の結果、縄文時代から平安時代半ばまでのいくつかの時期に、人々がここで生活していたことが明らかとなりました。中でも割合類例の少ない縄文時代中期の「敷石住居跡」、古墳時代の「石製模造品を製作した竪穴住居跡」、奈良時代の「須恵器窯」などが注目されます。遺跡の場所は、四倉町玉山・山田小湊です。

事業団調査の白岩堀ノ内館跡の麓からも、石製模造品を製作した可能性のある竪穴住居跡を検出しており、注目されます。

遺『大久保F遺跡の調査』 四倉町駒込地内の遺跡です。平安時代の竪穴住居跡や掘立柱建物跡のほか、土師器窯跡・須恵器窯跡が検出されました。これらの窯に使用する木炭窯跡も見つかっています。

とくに土師器窯跡は平窯式で31基もありました。土師器窯跡がこれほど群集している例は、瀬谷子遺跡（岩手県）、上新田遺跡（宮城県）、広網遺跡（郡山市）について4番目とされています。いわき市内でも土師器の出土する遺跡は数多いのですが、土師器がどこでどのように製作されたのかはほとんどわかっていません。それだけに貴重な発見と言えます。

遺『弥生中期の鉄製鋸出土』 福島民報（2月11日）によれば、四倉町の白岩堀ノ内遺跡から、東北地方最古と思われる鉄製鋸が出土しました。

紀元前後の弥生中期の層から出土したものです。長さは11,6cmで、中央部に菱形の穴があいています。従来県内では、会津大塚山古墳の四世紀の大刀類が最古の鉄製品と言われていましたので、いっきょに数百年間さかのぼったこととなります。この遺跡の隣接地点は、事業団でも調査する予定です。この遺跡の隣接地点は、事業団でも調査する予定です。この遺跡の隣接地点は、事業団でも調査する予定です。

巻頭記事総目次

第 1 号	龍門寺遺跡	1982、 9、 20
第 2 号	龍門寺遺跡	1982、 10、 5
第 3 号	龍門寺遺跡	1982、 11、 1
第 4 号	龍門寺遺跡	1982、 11、 15
第 5 号	龍門寺遺跡	1982、 12、 10
第 6 号	龍門寺遺跡	1983、 2、 10
第 7 号	龍門寺遺跡	1984、 2、 9
第 8 号	砂屋戸荒川館	1984、 10、 8
第 9 号	夏井麿寺	1986、 1、 20
第 10 号	久世原館	1986、 1、 30
第 11 号	綱取貝塚—縄文集落の調査—	1986、 3、 25
第 12 号	久世原館・番匠地遺跡—中世城館跡の調査—	1986、 7、 25
第 13 号	小申田横穴群—古墳時代の横穴の調査—	1986、 8、 11
第 14 号	久世原館・番匠地遺跡	1986、 11、 10
第 15 号	久世原館・番匠地遺跡	1987、 5、 18
第 16 号	下平石遺跡—縄文時代前期から中期の集落跡の調査—	1987、 11、 30
第 17 号	戸田糸里遺跡—水田跡の調査—	1988、 9、 10
第 18 号	常磐バイパス遺跡発掘調査	1988、 11、 20
第 19 号	植田郷B遺跡現地説明会	1989、 5、 7
第 20 号	折返B遺跡—いわき市泉町滝尻—	1989、 5、 12
第 21 号	折返B遺跡(2)—古代集落跡の調査—	1989、 6、 23
第 22 号	みまやのれきし—久世原館・番匠地遺跡を訪ねて—	1989、 7、 7
第 23 号	写真でみるみまやのれきし—久世原館・番匠地遺跡—	1989、 8、 5
第 24 号	荒田目条里制遺構・砂畑遺跡	1989、 8、 19
第 25 号	馬渡遺跡—いわき市常磐下船尾町字馬渡地内—	1989、 10、 27
第 26 号	泉城跡発掘調査—いわき市泉町四丁目—	1989、 11、 6
第 27 号	大畑A・F遺跡	1990、 5、 11
第 28 号	荒田目条里制遺構・砂畑遺跡2	1990、 8、 26
第 29 号	ふるさと創生化石学術調査	1990、 11、 18
第 30 号	根岸遺跡第1次範囲確認調査—古代群衙推定地の調査—	1991、 2、 18
第 31 号	高戸A遺跡の成果—東北横断自動車道いわき新濁線(磐越道)関連発掘調査始まる—	1991、 5、 23
第 32 号	根岸遺跡第2年次範囲確認調査	1992、 2、 23
第 33 号	大仁田遺跡の遺物—縄文時代・古墳時代の生産活動を示す遺物—	1992、 6、 29
第 34 号	焼失家屋の多い落合遺跡—東北横断自動車道小野町工事区内遺跡—	1992、 10、 18
第 35 号	中倉B遺跡発掘調査の成果—縄文時代の住居跡を多数検出—	1992、 12、 22
第 36 号	平成4年度根岸遺跡範囲確認調査	1993、 2、 15
第 37 号	泉の駅前には遺跡だった!—泉第三土地区画整理事業関連発掘調査 平成4年度の成果—	1993、 3、 1
第 38 号	いわき市内発見の木筒	1993、 5、 17
第 39 号	荒田目条里遺跡発掘調査終る	1993、 7、 27
第 40 号	古代のようすと根岸遺跡—平成5年度範囲確認調査の成果から—	1993、 11、 15
第 41 号	菅俣B遺跡—泉第三土地区画整理事業関連発掘調査—	1993、 11、 21
第 42 号	木製品の保存処理作業	1994、 4、 26
第 43 号	縄文時代の玉手箱—貝塚からわかる縄文人のくらし—	1994、 5、 14
第 44 号	完成したいいわき市史	1994、 10、 7
第 45 号	解明されつつある磐城郡衙跡	1994、 11、 16
第 46 号	古代の陶工の村?—五反田A遺跡—	1994、 12、 16
第 47 号	海をわたってきたやきもの—市内発見の輸入陶磁器の紹介—	1995、 5、 19
第 48 号	上ノ原B遺跡の経塚—常磐道延伸関係遺跡発掘	1995、 11、 27
第 49 号	根岸遺跡第8次調査の成果—柵列と郡庁院—	1996、 1、 8

※都合により一部サブタイトルを省略してある号もあります。